

リガク中国子会社、理学電企儀器（北京）有限公司（Rigaku Beijing Corporation）の CEO
に Jeff Li 氏が就任

X線分析・測定・検査機器のトップメーカーである株式会社リガク（本社：東京都昭島市、以下「リガク」）は2022年9月1日、リガクの中国子会社である理学電企儀器（北京）有限公司（Rigaku Beijing Corporation）の社長に Jeff Li 氏が就任したことを発表しました。

Li 氏の前職は、Qiagen China（上海）の元副社長兼大中華圏の責任者であり、Perkin Elmer および Agilent Technologies で 20 年以上のキャリアを築いてきました。Li 氏は、1993 年にニューヨーク州立大学で材料科学の博士号を取得。様々な企業や研究機関との強力なパートナーシップの構築と、専門的なチームの組織化によって、化学分析、水質分析およびライフサイエンスなどの幅広い分野において、企業の成長を促進した実績があります。

株式会社リガクおよびリガク・ホールディングス株式会社の代表取締役社長の池田俊幸氏は、次のようにコメントしています。「Li 氏のような優れたリーダーをリガクのチームに迎えることができ、嬉しく思います。Li 氏には中国市場特有の課題を対処するために十分な資質が備わっており、材料科学の知見とマーケティングおよび組織構築の卓越した実績によって、リガクの中国子会社を次のレベルに導くものと期待しています。」



Li 氏は、「リガクのチームの一員になれることを非常に楽しみにしています。リガクは、X線技術のリーディングカンパニーであり、幅広い製品群を提供しています。私たちは顧客の課題解決に注力し、お客様により強力なサポートとサービスを提供することで株式会社リガクのグローバルな発展に貢献していきます。」とコメントしています。

理学電企儀器（北京）有限公司（Rigaku Beijing Corporation）について

中国におけるリガク製品の販売とアフターサービスを担当しており特に顧客の課題解決に重点を置いています。本社拠点は北京市海淀区西直門外大道 168 号の Tengda Plaza です。現在、リガク・ホールディングス 株式会社がシンガポールの子会社である Rigaku Asia Pacific Pte. Ltd. を通じて保有しており、中国でのリガクのビジネスを管理するために 2009 年に設立されました。

リガクについて

1951 年の創業以来、株式会社リガクは X 線と熱分析をコア技術に持ち、分析機器と工業用機器の最先端技術を提供してきました。今日、リガクグループは、国内のみならず、アメリカ・ヨーロッパ・中国を始めとした世界各地の拠点をベースに、汎用 X 線回折 (XRD)、薄膜分析 (XRF、XRD、XRR)、蛍光 X 線分析 (TXRF、EDXRF、WDXRF)、小角散乱分析 (SAXS)、蛋白・低分子 X 線結晶構造解析、ラマン分光分析、X 線光学素子、半導体検査 (TXRF、XRF、XRD、XRR)、X 線発生装置、CT スキャン、非破壊検査、熱分析の各分野において先進的な役割を担っています。X 線とその周辺技術の膨大な知見を強みとして、お客様との協業関係を築き、学会や産業界を通して、グローバルにパートナーシップ、コミュニケーション、イノベーションを促進してきました。蛋白構造解析、ナノテク開発、汎用 X 線回折 (XRD)、蛍光 X 線分析 (XRF)、材料分析、品質保証を含む多種多様な分野に向けて、統合されたソリューションを今後も引き続き提供してまいります。

詳しくは、japan.rigaku.com/ja をご覧ください。

リガクの詳細については、<https://www.rigaku.com/> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

リガク・ホールディングス株式会社 広報宣伝課課長：内匠 優理香

prad@rigaku.co.jp

TEL：042-545-8190